

平成 22 年度第 1 回中原区区民会議運営部会会議録【抜粋】

○日 時 平成 22 年 8 月 9 日（月） 午後 1 時～午後 3 時 10 分

○場 所 中原区役所 5 階 503 会議室

○出席者 鈴木部会長、杉野副部会長、板倉委員、川連委員、松本委員、・房委員

（事務局）山崎副区長、企画課：飯塚課長、織裳担当係長、橋本職員、園田職員、宮田担当係長

（行政関係者）地域振興課：川添担当課長、佐藤担当係長、地域保健福祉課：小金井課長、高齢者支援課：早坂課長、こども支援室：守屋担当課長

（1）第 2 回中原区区民会議の議題の候補及び今後の議題について

○事務局：資料 2-1、2-2、2-3 により課題選定から課題への取り組み事例などを説明

（子育てに関する主な意見）

- ・ 公園が各町会にある。公園という場を活用して、子どもとお年寄りの触れ合う仕組みづくりを提案した。ハード面ではなく、手軽に取り組めることを念頭において提案をした。（・房委員）
- ・ 子育てサロンを立ち上げるにあたっては、「100人の親子と知り合おう」ということをテーマに始めた。2人でも3人でも自分の近くの方と知り合おうという気持ちで人付き合いをすれば、すごく大きな力になると思う。高齢者の方が下校時の見守りを行うなど、中原区には土台がある。子育てに関しては、きっかけは作りやすく、取り組みやすい分野と思う。（松本委員）
- ・ 中原区は、7年前に子育てサロンを立ち上げるなど、非常に子育てに熱心な土地柄である。子どもを皆で守る、育てる、仕付けるという風土は非常に大切なことである。多くの方が子どもに目を向けていく仕組みを作ることは力を入れていくべきである。（・房委員）
- ・ 子育て支援の活動を継続していくうえでは、ボランティアの育成が欠かせないと思う。（杉野副部会長）
- ・ 子育ては子どもの年齢に応じて変わってくる。専門的な相談にのってくれる人が身近にいることが大切である。どうしても、人と人のつながりの部分が重要となり、テーマの中に入ってくると思う。（松本委員）
- ・ 高齢者と子育て世代、世代間交流の意見が多くあった。昔は「子どもは地域の宝だ」といった時代もあった。高齢者の中には、孤独を感じている方も多くいると思われる。2つ目のテーマの候補は、「地域における子育て応援体制づくり」でどうか。（鈴木部会長）
⇒「地域における子育て応援体制づくり」を2つ目のテーマの候補として了承

(その他の意見)

- ・ 中原の観光スポットについて検討してみたい。二ヶ領用水の両サイドに区民の方が花を植えている。花クラブを活用して二ヶ領用水を花で飾ったら良い観光スポットになるのではないか。(・房委員)
- ・ 等々力緑地に多くの方が訪れている。そのことで多摩川を訪れる人も増えている。市民ミュージアム活用も大切なポイントだと思う。区が進めるエコカフェも良い活動だと思う。(鈴木部会長)
- ・ 取り上げ方が難しいが、環境問題、緑についても、テーマとしたい。また、ゴミ問題などはどうであろうか。(板倉委員)
- ・ 中原区は、単身で若い世帯が多い特徴がある。若い方が参画できるイベントなども設けていきたい。(松本委員)
- ・ 子育て未来フェスタなどのイベントにも、区民会議として参加して、若い方と意見交換しても良いのではないか。(鈴木部会長)
- ・ 中原区には大企業が沢山ある。企業と区民の連携を検討したらどうか。スポーツに力を入れている企業も沢山ある。(・房委員)
- ・ スポーツや文化活動が活発な学校も沢山ある。連携できれば面白いと思う。(鈴木部会長)
- ・ NECの吹奏楽は日本でもトップクラスである。(杉野副部会長)

以上要約のみ